



大東文化大学国際関係学部創設25周年記念



アジア芸能のタベ



2011年11月19日(土)

開場 14:30 開演 15:00 終演 17:30(予定)

大東文化大学東松山キャンパス60周年記念講堂



主催 / 大東文化大学国際関係学部 後援 / 東松山市・東松山市国際交流協会



アジア芸能の夕べによくこそ

国際関係学部長
松井 弘明

本日は、国際関係学部主催「アジア芸能の夕べ」にご来場いただきありがとうございます。今年の「アジア芸能の夕べ」は国際関係学部創設25周年を記念して行われるものです。25周年記念行事として、今年度初めからベトナムの社会に関する講演会、手塚治虫原作による映画「ブッダ」の上映、学部ロゴマークの制定などを行ってきました。さらに今後クメールの伝統織物に関する講演、25周年記念誌の発行などが予定されていますが、本日の「アジア芸能の夕べ」はそのなかのハイライトです。

国際関係学部は、今のようにアジアがまだ注目されていなかった時代に、アジア諸地域を教育・研究する学部として創設されました。これは本学が東洋文化の教育・研究を旨として創立された流れを受け継ぎ、発展させるものでもあったといえます。このような学部自体、当時としては珍しいものでしたが、特にアジアの地域言語を学び、現地での語学研修を行う学部はほかにありませんでした。今もその特色は基本的に維持されており、学生主体で行うアジアミックス（アジア料理祭）、アジア言語スピーチコンテストなども盛んに行われています。

このようなアジア教育・研究を中心として行ってきた国際関係学部の活動が文部科学省に高く評価され、2006年に「特色ある大学教育支援プログラム」（特色GP）に選定されました。「アジア芸能の夕べ」はその活動の一環として始められたもので、今年は第4回となります。これまでの「アジア芸能の夕べ」では、インドネシア、韓国、インド、中国、タイ、アラブなどの伝統音楽・舞踊を上演してきました。地域の皆様に親しまれ、喜んでいただいたと思っています。

さて、今年の「アジア芸能の夕べ」は、日本の雅楽と中国の京劇をご覧いただけます。京劇はよく知られた中国の伝統劇なので、どこかでご覧になった方も多いのではないかと思います。中でも本日ご覧いただく『西遊記』は、よく知られた孫悟空の物語で、動きの速い活劇でもありますので、お楽しみいただけるものと思います。

一方雅楽は「アジア芸能の夕べ」でも初めて取り上げるもので、宮中で演奏されることが多いため、皆様もあまり接する機会がないのではと思います。いうまでもなく、日本の伝統文化・芸術には大陸から伝わってきたものが多くみられますが、雅楽もその一つで日本固有の伝統に大陸からの様式が融合したもので、合奏形式としては世界最古ともいわれます。そのため雅楽を初めて聞くと、日本のものとはどこか違う、アジア的なものが感じられます。本日は日本とアジアとのつながりに思いを馳せながら、お楽しみいただければと思います。

Program

14:30 ◆ 開場

二胡の演奏(2階ロビー)

1.パッヘルベル「カノン」

2.中国民謡

出演:草間 友輔

大東文化大学学生

15:00 ◆ 開演

◆ 学部長 あいさつ

◆ 中国の京劇 出演:張紹成京劇団

1.秘技「変面」

2.京劇『西遊記』より

16:00 ◆ 休憩 (20分)

16:20 ◆ 日本の雅楽 出演:伶楽舎

管絃

ひょうしょうのねとり

1.平調音取

えてんらく

2.越殿楽

ごしょうらくのきゅう

3.五常楽急

かしん

4.朗詠「嘉辰」

ばいろ

5.陪臚

げんじょうらく

舞楽「還城楽」



司会進行: 関谷元子(音楽評論家)

舞台監督: 中村 卓

中国の京劇

出演者紹介

張紹成京劇団



チョウ ショウセイ
張紹成

京劇俳優・演出家・中国武術家。10歳で中国全土の中から選ばれ京劇俳優養成の最高機関である中国戯曲学院に入学、中国の戯曲教育における第一期大学卒業生となる。卒業後、国家京劇院(中国京劇院)の主役俳優を務める。在籍中、北京と台湾の合作京劇映画「挑滑車」に主演、北京映画製作所と香港の合同カンフー映画「絶処逢生」に主演。1989年市川猿之助スーパー歌舞伎の合同公演「リユーオー」に出演、国内外で活躍。人間国宝級の王金璐氏の弟子である。二枚目俳優でありながら女形も演じられる俳優であり、文武両道に優れた役者として希少な存在である。1990年来日。伝統京劇普及のため情熱を注ぐ活動は、2009年TBSテレビ「報道の魂」で取り上げられ反響を呼んだ。京劇と中国文化を通し日中の架け橋として活躍中。中国武術と健康養生にも造詣が深く、それらの経験をもとに作られた『バランスエクササイズ』が好評。全国設計事務所健康保険組合講師、大阪樟蔭女子大学非常勤講師、工学院大学孔子学院 客員研究員。

<http://www.kyogeki.info/>



マ ジェンホン
馬征宏

山東省戯曲学院卒業、専門は道化役。在学中は数々のコンクールで賞を受賞。卒業後山東省京劇院に入団。ヨーロッパ・アジアなど海外でも多数公演を経験する。その後北京京劇院、北京風雷京劇団などの合作公演で主役俳優として活躍。2003年来日後、舞台、テレビ、映画などにも参加し活動の場を広げている。



ウ ヤク
于躍

国立大連芸術学校にて京劇を専攻。卒業後大連京劇団に入団。1992年(12歳)新作京劇で当時の中国国家主席楊尚昆の少年役を演じ、京劇公演後、楊主席の宴会へ招かれた。京劇のほか中国武術(カンフー)散打を学び、様々な武芸も身につける。2002年来日、京劇以外に様々なイベントやテレビ番組、ドラマ、映画でも活躍。



リュウ トウフウ
劉東風

10歳で中国全土から選ばれ中国戯曲学院に入学、卒業後、北京京劇院に入団。「五百年後孫悟空」の孫悟空役で、若手のホープとして注目される。1999年来日、京劇俳優として活躍、また得意とする秘技「変面」の芸でも高い評価を得る。

演目解説

1. 秘技「変面」

中国各地の伝統劇が発展させてきた技の一つで、とくに四川省に伝わる「川劇」が有名です。顔を一瞬のうちに変えて怒りや恐れ、絶望などの喜怒哀楽を表現します。京劇にも取り入れられ、顔の役柄に合わせた様々の動きにより表現力が豊かになりました。仕掛けは秘伝とされ、過去は一族など限られた者にしか伝承を認めていませんでした。今でも原則的に国家秘密として神秘さが守られています。



2. 京劇解説、ワークショップ

京劇の見方楽しみ方、約束ごとやメイク、衣装の色の意味を所作を交えながら解り易く楽しく説明します。お客様にも一緒に動きを体験していただきます。



3. 京劇『西遊記』より 「閻天宮」の一節

孫悟空が三蔵法師と出会う前のお話です。天宮の玉帝は孫悟空を齊天大聖に就任させ、祝宴を設けますが、孫悟空は招かれざる客であることを知ります。怒った悟空は天宮に忍び込み、神様達の果物やお酒を食べつくして山に帰ってしまいます。孫悟空の食べたり飲んだりするしぐさは猿の特徴を捉え、京劇特有の猿らしさを楽しめます。



日本 | の | 雅 | 楽 |

出演者紹介

伶楽舎 REIGAKUSHA

雅楽の合奏研究を目的に、1985年に発足した雅楽演奏グループ。音楽監督・芝祐靖。発足以来、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。特に、現代作曲家への委嘱作品や古典雅楽様式の新作の初演には力を入れ、年2回のペースで開催している自主演奏会で度々発表している。これまで自主公演では新作の委嘱を続け、菅野由弘「月の位相」、猿谷紀郎「凜刻」、西村朗「夢幻の光」、池辺晋一郎「桜樹峨峨」、湯浅譲二「ミュージック・フォア・コズミック・ライツ」、芝祐靖「呼韓邪單于、巾幗輪説」他、多くの作品を初演。また、武満徹「秋庭歌一具」の演奏に関しては定評があり 2001年5月、同曲を演奏したサントリーホールでの自主演奏会が評価され、2002年2月中島健蔵音楽賞特別賞を受賞、同時に録音したCD「秋庭歌一具」(ソニークラシカル)は平成14年度芸術祭レコード部門優秀賞受賞。また、平成15年度芸術祭大賞を受賞した「薬師寺最勝会復興上演」の新作(猿谷紀郎作曲)初演を担当。他に、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及にも努める。また、本物の舞台芸術体験事業公演他、小中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども多く行っている。

<http://www.reigakusha.com>



出演者

管絃「平調音取」「越殿楽」「五常楽急」、楽器紹介、朗詠「嘉辰」、管絃「陪臚」

笙: 中村華子、箏: 田淵勝彦、龍笛: 八木千暁、琵琶: 田中康真、箏: 平井裕子、鞆鼓: 宮丸直子、太鼓: 石川高
鉦鼓: 鈴木絵理

舞楽「還城楽」

舞: 中村かほる、蛇持ち: 田淵勝彦、笙: 石川高、箏: 田淵勝彦、田中康真、龍笛: 八木千暁、平井裕子
三の鼓: 宮丸直子、太鼓: 中村華子、鉦鼓: 鈴木絵理



演目解説

雅楽とは

日本の代表的な伝統芸能の一つである雅楽は、平安時代に大成し、以後、千年以上もの時を経て今日まで伝えられて来ました。今日の雅楽の標準的なスタイルに、演奏のみの「管絃」と舞の付く「舞楽」があります。大がかりな行事や祭礼、法要などでは、絢爛豪華な「舞楽」が盛んに演じられていましたが、一方、平安時代の貴族達は嗜みとして、また、自らの楽しみとして、楽器を奏で、歌を歌っていました。この雅な遊び「御遊ぎょゆう」が様式化され定着したのが「管絃」の形です。雅楽の伝統的な演奏会では、この管絃と舞楽を合わせて上演致します。

管絃

ひょうじょうのねどり

1. 平調音取

演奏に先立って奏す短い楽曲で、楽器の音を整え、会場をその調子の雰囲気であつた役割を持っています。平調はE(平調)の音を主音とする音階で、秋の調子とされています。

えてんらく

2. 越殿楽

平調の越殿楽は、今日では雅楽の曲の中で最もよく知られた曲の一つです。小曲で、舞はなく、曲名の由来なども解っていませんが、他曲にはないその独特の旋律は、いかにも優雅で、比類なき名曲として親しまれています。この旋律は、後に越殿楽今様、謡曲や箏曲、さらには民謡の黒田節などにも取り入れられ、時を超えて、ジャンルをも越えた広がりを見せることとなりました。

ごしょうらくのきやう

3. 五常樂急

五常とは人が常に守るべき五つの徳、仁義禮智信のことで、この曲は、この五常を楽の五音に配して唐の太宗が作り、五音の和をよく備える名曲とされています。他に、序と破の楽章も伝わり、序破急の揃った楽曲として舞楽曲として演じられますが、この急の楽章は管絃の曲としてもよく演奏されます。

けんじょうらく

舞楽「還城楽」

蛇を好んで食す西域の人が蛇を見つけて喜ぶ様子を舞にした、或いは、唐の明王が凱旋の後、京に還ってこの曲を作り、後に王の宗廟で奏すると蛇が現れ喜んだ、などの由来が伝わり、「見蛇楽」「還京楽」等の別称があります。林邑八楽の一つで、西域起源の楽舞とも言われています。毛縁の裱襦袢束に吊り顎の厳つい面を付け、手に桴を持って舞う勇壯闊達、豪快な舞です。

舞楽「還城楽」は、「小乱声こらんじやう」(龍笛独奏と太鼓、鉦鼓の前奏曲)、「陵王乱序りやうおうらんじよ」(打物と龍笛の追吹きの登場楽)、「還城楽音取けんじょうらくのねどり」(三管主奏者の合せ音取り)、当曲「還城楽へんじやうらく」、「案摩乱声あんまらんじやう」(打物と龍笛の退吹きの退出楽)で構成されています。舞人の出手(登場の舞)の中、「蛇持ち」という役が舞台中央に蛇を置きますが、それを見つけて喜ぶ振りが特徴的です。また、この舞楽には左方と右方、二つの演奏方法があり、本日上演する右方の舞は「八多良八拍子やたらやひやうし」(2+3の混合拍子)という特殊な拍子で奏され、より一層力強さ、勢いが強調されます。

かしん

4. 朗詠「嘉辰」

雅楽の歌物の一つである朗詠は漢詩文を詠唱するもので、高尚な品格ある歌物として好まれていました。フリーリズムで、笙、箏、龍笛各一管の伴奏がつきます。この「嘉辰」は祝言的な内容で、晴の席では特に良く歌われていた曲です。

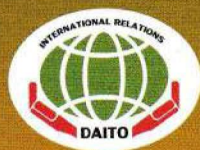
歌詞: 嘉辰令月 歡無極 万歳千秋 樂未央

(大意: めでたい日と月、歡びは極まりなく、千年万年、楽しみは尽きることがない)

ばいろ

5. 陪臚

林邑国に起源を持つ林邑八楽の一つです。林邑とは今のベトナム辺りに栄えたインド文化の影響の濃い王朝で、林邑楽はインドからベトナム地方を経て中国に入った楽舞とも言われています。この曲は、出陣に際して戦勝を祈願して奏した、或いは、この楽を七返演奏して、もし「舎毛音しやもうのこゑ」があると戦に勝つ等の謂われが伝わっています。舞楽は楯と鉦を手にした武人の姿の軽快華麗な四人舞で、管絃(2+4の早只四拍子)の曲としても良く演奏されています。



 **大東文化大学**
DAITO BUNKA UNIVERSITY

国際関係学部

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560

TEL 0493-31-1513

FAX 0493-31-1512

HPアドレス <http://www.daito.ac.jp/>